

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	地域に密接した緊急病院のアクセス向上及び安全な道路空間の確保を図る道路整備（防災・安全）												
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	さいたま市												
計画の目標	地域医療の中心となる救急病院へのアクセス道路の体系的な道路ネットワークの整備により、災害などの緊急時に迅速かつ円滑な移動に資する道路整備の推進												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	26,018	A	25,687	B	0	C	331	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	1.27	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	・地域に密接した緊急病院へのアクセス時間が10分未満のエリア面積を増やす。 さいたま市内における緊急指定病院へのアクセス時間が10分未満範囲の拡大率を計上する。 $\Sigma \left(\frac{\text{整備後に10分未満でアクセスできる面積} - \text{整備前に10分未満でアクセスできる面積}}{\text{整備前に10分未満でアクセスできる面積}} \right) \times 100$	0%	5%	15%
2	・近年、多発する集中豪雨等による都市型水害の低減を図り都市防災機能の強化を図る。 さいたま市内における5年間（1年平均）における道路冠水箇所を集計し低減率を計上する。 $\Sigma \left(\frac{\text{整備前の道路冠水箇所数} - \text{整備後の道路冠水箇所数}}{\text{整備前の道路冠水箇所数}} \right) \times 100$	0%	5%	10%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	岩槻中央通り線(市宿工区)	0.6km 現道拡幅	岩槻区	■	■	■	■	■	97		—	
	A01-002	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	三橋中央通線(三橋工区)	0.8km 現道拡幅	大宮区	■	■	■	■	■	1,002		—	
	A01-003	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	田島大牧線(太田窪)	0.8km 現道拡幅	浦和区・南区・緑区	■	■	■			1,691		—	
A01-004	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	与野東口三室線	0.3km バイパス整備	緑区	■					70		—		
A01-005	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	産業道路(原山工区)	0.4km 現道拡幅	南区・緑区	■	■	■	■	■	5,461		—		
A01-006	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	産業道路(原山2工区)	0.6km 現道拡幅	緑区					■	■	2,900		—	

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-007	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	産業道路(天沼工区)	0.7km バイパス整備	大宮区	■					130		—	
	A01-008	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	道場三室線(2工区)	1.1km バイパス整備	桜区・中央区	■					167		—	
	A01-009	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	南大通東線(天沼工区)	0.2km バイパス整備	大宮区	■					78		—	
	A01-010	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	産業道路(天沼2工区)	0.5km バイパス整備	大宮区	■					0		—	
	A01-011	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	大宮岩槻線	1.1km 現道拡幅	大宮区・見沼区	■	■	■	■	■	2,091		—	
	A01-012	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	氷川緑道西通線(北区間)	0.3km 現道拡幅	大宮区		■	■	■		12,000		—	
											小計						25,687			

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H26	H27	H28	H29	H30			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						25,687		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H26	H27	H28	H29	H30			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	C01-001	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	雨水貯留施設（三橋中央通線）	雨水貯留 V=1,400m3	大宮区	■	■	■			145		—
		道路整備事業と一体的に冠水対策を行うことにより、豪雨時の道路冠水を予防し、地域の緊急病院へのアクセスの向上が期待される。																	
	C01-002	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	雨水貯留施設（田島大牧線 太田窪）	雨水貯留 V=850m3	浦和区・南区・緑区	■	■	■			90		—
		道路整備事業と一体的に冠水対策を行うことにより、豪雨時の道路冠水を予防し、地域の緊急病院へのアクセスの向上が期待される。																	
	C01-003	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	雨水貯留施設（産業道路 天沼工区）	雨水貯留 V=690m3	大宮区	■					29		—
道路整備事業と一体的に冠水対策を行うことにより、豪雨時の道路冠水を予防し、地域の緊急病院へのアクセスの向上が期待される。																			
C01-004	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	雨水貯留施設（道場三室線 2工区）	雨水貯留 V=500m3	桜区・中央区	■					0		—	
	道路整備事業と一体的に冠水対策を行うことにより、豪雨時の道路冠水を予防し、地域の緊急病院へのアクセスの向上が期待される。																		
C01-005	街路	一般	さいたま市	直接	さいたま市	S街路	改築	雨水貯留施設（大宮岩槻線）	雨水貯留 V=567m3	大宮区・見沼区	■	■				67		—	
	道路整備事業と一体的に冠水対策を行うことにより、豪雨時の道路冠水を予防し、地域の緊急病院へのアクセスの向上が期待される。																		
										小計						331			
										合計						331			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
さいたま市公共事業評価審議会		令和2年11月	
		公表の方法	
		さいたま市ホームページにて公表	

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>事業箇所である三橋中央通線（三橋工区）、与野東口三室線等の計画期間内の完了により、緊急指定病院へのアクセスエリア拡大が図られた。一方で、道路冠水箇所の低減率については計画期間内で完了した事業箇所が3箇所に限られていることや、近年の集中豪雨の増加等の影響もあり、計画全体としての効果発現には至っていない。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<p>都市計画道路三橋中央通線は都心部である大宮駅と市内地域を連携する幹線道路である。三橋中央通線（三橋工区）の完成により、新大宮バイパスから大宮駅へのアクセス性の向上、また、広幅員の歩道が整備されたことにより、自転車と歩行者が安全・快適に通行できる環境を創出した。</p>

○特記事項（今後の方針等）

本計画の事業箇所（12箇所）については、用地取得の遅れもあり、3箇所の完了に限られている。完了していない事業箇所については次期整備計画に位置付け、継続して用地買収・工事を進捗し、救急医療施設へのアクセス圏域拡大、及び、緊急時の円滑な移動に資する道路ネットワークの構築を目指し、成果目標の達成を実現していく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	15%
	最終実績値	10%
さいたま市内における緊急指定病院へのアクセス時間が10分未満範囲の拡大率を計上する		
整備計画期間内に完了した3箇所により、緊急病院へのアクセスエリアは拡大している。また、同期間内に完成した周辺路線の効果もあり、目標の約7割を達成している。しかし、計画期間内に病院施設の移転が生じたため目標値を下回った。		
2	最終目標値	10%
	最終実績値	-2%
さいたま市内における5年間（1年平均）における道路冠水箇所を集計し低減率を計上する		
用地取得の遅れにより、整備計画期間内に完了した事業が3箇所に限られていることや、近年の異常気象による集中豪雨の増加等の影響もあり、目標を達成できなかった。		

参考図面

